

WSの結果をふまえたまとめ

○参加したすべての中学生が、
本WSを肯定的に受け止めていた。

100%
よかった

よかった	→ 26人
まあよかった	→ 0人
あまりよくなかった	→ 0人
よくなかった	→ 0人



4 今回のワークショップのように、これからの学校再編に対して中学生の意見を報告する機会があることに対してどのように感じましたか？（1つ選択）

【肯定的に受け止めた理由】

中学生たちは、「大人だけで決めるのではなく、自分たちの意見がきちんと聞かれ、未来づくりに反映される場」に参加できたことを強く肯定的に受け止めている。自分では気づけなかった視点を得たり、他校の意見に触れて視野が広がったりしたことに価値を感じており、発表や対話を通して学びや成長を実感している。自分たちの声がまちづくりや学校づくりに影響するかもしれないという期待やワクワク感も大きく、また参加したいという前向きな気持ちが多く見られる。

⇒ 大人だけでなく中学生の意見が尊重され、未来づくりに関わったことへの喜びと、対話を通じて視野が広がったという学びが多くの生徒に共有されている。

（アンケート結果（中学生の記述）をMicrosoft copilotを活用して要約）

中学生の各グループの「よりよい教育・学習環境とは！？」に対する主な意見

グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5
力を高める、意欲的、意見がいいやすい、40人、先生がみんなをみることができる	今日もいきたいと思える学校。30名程度、通学時間30分程度。	人数が多い方がよい。通学時間は短い方がよい。部活動の充実。	全員が活躍できる。負担、役割、今の規模がよい（150名程度）。トイレなどの設備、通学時間	意見の尊重、あたたかい雰囲気、さまざまな意見にふれることができる（クラス替え）

「より良い教育・学習環境」についての中学生の考えの傾向について

1. 共通点

⇒一人一人の資質・能力や可能性が高まること

2. 相違点

(1) 大規模の学校

「まちがえてもよい環境、安心して発言ができる環境」

⇒ **“心理的安全性”**の確保

⇒ どのような人数、規模であればいいのか！？

(2) 小規模の学校

「クラス替えをしてみたい、学校行事を盛り上げたい」

⇒ **環境の変化**の体験

⇒ 通学などの“負担”をどのように考えるか！？

【主な争点（案）】

① “適度な競争”がある環境とは！？（学校行事、部活動など）

⇒どのぐらいの人数であればよいか？

② “負担”はどこまで！？（生徒や家庭など）

⇒登下校の時間はどのくらい！？

③ “地域との関わり”をいかに考えるか！？

⇒“地域への貢献や地域から学ぶ機会”をいかに確保するか！？

【議論する際の留意点】

① “留保条件”を考えることも大切です。

「～という条件であるならば、わたしは～と考える。」

② “将来の西予市全体にとって”という観点を含めて

考えることも大切です。

今後の展開について
～大人と中学生（子ども）の相互作用を重視した展開～

